

後期高齢者医療の方

平成26年度後期高齢者医療の被保険者を対象として、人間ドック検診費用の一部を助成する事業を実施します。希望する方は、助成申請方法に従い手続きをしてください。

助成申請方法

- ①事前に医療機関に一般ドックまたは脳ドックのどちらかを予約してください。
- ②予約後、社会福祉課に助成申請書を提出してください。
- ③申請後、助成決定通知書を送付します。

対象者

- 次のすべてを満たす方
- 後期高齢者医療制度の加入者
- 後期高齢者医療保険料を滞納していない方

※受診できるのは、個別健診・集団健診・人間ドックのいずれかひとつとなります。

検診予約期間

4月1日～平成27年1月30日

検診期間

4月1日～平成27年3月31日

市助成額

年1回1人当たり1万円

個人負担額

検診料から市助成額1万円を引いた額です。

問い合わせ先

社会福祉課 ☎(52) 1112

【委託医療機関】

医療機関名	検診料 (円)	検診内容	胃の検査		電話
			バリウム	胃カメラ	
自治医大健診センター	54,140	一般ドック	○	×	44-2100
石橋総合病院	41,000	一般ドック	○	○	53-1134
佐藤内科	45,180	一般ドック	×	○	53-1305
島田クリニック	42,290	一般ドック	○	×	53-8000
小金井中央病院	38,340	一般ドック	○	○	44-7000
宇都宮セントラルクリニック (宇都宮市屋板町)	41,040	一般ドック	○	×	028-657-7302
	43,200	脳ドック	—	—	
鷺谷病院 (宇都宮市下荒針町)	42,120	一般ドック	○	○	028-648-0484
	38,880	脳ドック	—	—	
新小山市市民病院 (小山市若木町)	43,200	一般ドック	○	—	0285-21-3823
	47,520	// (胃カメラ)	—	○	
	43,200	脳ドック	—	—	

※脳ドックは、頭部MRI、MRA、頸部MRA

花粉飛散情報をチェックして 早めの治療と日常生活の対策に 役立てよう

春になると多くの人が、つらい症状に悩まされる「スギ・ヒノキ科花粉症」。毎年、花粉症の症状が出ている人は、花粉が飛び始める前から早めに医療機関に相談することが大事です。万全の花粉症対策と早めの予防をするために、環境省花粉症情報サイトが提供する花粉飛散情報を活用してください。

環境省では、花粉症対策に役立ててもらうため、都府県ごとの飛散開始時期を、「スギ花粉飛散開始マップ」で、順次提供しています。

また、花粉飛散シーズンには、リアルタイムの花粉の飛散状況について、「花粉観測システム(愛称: はなごころ) URL: <http://pollen-net.com/KAFUNMAP/kafunmap.html>」で情報を提供しています。「はなごころ」(URL: <http://kafun.taiki.go.jp/>)では、アメダス観測地点の気象データと組み合わせて、1時間ごとの最新の花粉飛散量、飛散方向なども分かります。携帯版サイト (<http://kafun.taiki.go.jp/mobile/>) でも情報提供していますので、ぜひ、チェックしてみてください。

花粉症の原因となる花粉は スギやヒノキを含めて約60種類

花粉症は、樹木や草花の花粉が原因となって、鼻水やくしゃみ、目のかゆみ、のどの痛みといった、さまざまなアレルギー症状を起こす病気です。花粉症の原因というと、スギやヒノキなどがすぐに思い浮かびますが、それ以外にも、日本では、シラカンバやハンノキ、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギなど、およそ60種類の花粉が花粉症を引き起こすと報告されています。

花粉症の諸症状は、原因となる花粉が飛散する時期に現れます。スギやヒノキの花粉の飛散は春がピークですが、夏や秋に花粉が飛散する植物もあります。毎年決まった時期に鼻水やくしゃみ、のどの痛みなどの症状が出る人は、その時期が何か特定の植物の花粉飛散時期と重なっていないか確認してみてください。花粉症である場合、症状を悪化させないためには、適切な治療と対策が重要です。一度、医療機関を受診しましょう。

(引用: 政府広報オンライン)

